

平和記念公園・ 周辺ガイドMAP



本川小学校
平和資料館



碑や施設の説明が
ご覧いただけます。

メッセージ灯
とわ
みち
「灯和の径」

観光案内所・売店
レストハウス

- | | | | |
|--------------------|---------------------|------------------------|---------------------|
| 1 世界の子どもの平和像 | 18 韓国人原爆犠牲者慰霊碑 | 35 ノーマン・カズンズ氏記念碑 | 51 平和の灯 |
| 2 鈴木三重吉文学碑 | 19 被爆した墓石(慈仙寺跡の墓石) | 36 朝鮮民主主義人民共和国帰国記念時計 | 52 祈りの像 |
| 3 旧相生橋碑 | 20 平和の泉 | 37 平和記念ポスト | 53 平和の池 |
| 4 中国四国土木出張所職員殉職碑 | 21 平和乃観音像 | 38 平和の塔 | 54 旧天神町北組慰霊碑 |
| 5 広島県地方木材統制(株)慰霊碑 | 22 常夜燈 | 39 嵐の中の母子像 | 55 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 |
| 6 原爆ドーム | 23 義勇隊の碑 | 40 祈りの泉 | 56 レストハウス(観光案内所・売店) |
| 7 原民喜詩碑(佐藤春夫の詩碑の記) | 24 広島二中原爆慰霊碑 | 41 平和記念資料館(本館) | 57 広島郵便局職員殉職碑 |
| 8 動員学徒慰霊塔 | 25 広島国際会議場 | 42 平和記念資料館(東館) | 58 平和祈念碑 |
| 9 広島市道路元標 | 26 広島市商・造船工業学校慰霊碑 | (資料館東館内)ローマ法王平和アピール碑 | 59 原爆犠牲建設労働者・職人之碑 |
| 10 花時計 | 27 慈母の像 | 43 被爆したアオギリ | 60 「平和の祈り」句碑 |
| 11 原爆の子の像 | 28 原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑 | 44 全損保の碑 | 61 原爆犠牲ヒロシマの碑 |
| 12 平和の石塚 | 29 平和の像(若葉)湯川秀樹歌碑 | 45 峠三吉詩碑 | 62 石炭関係原爆殉難者慰霊碑 |
| 13 平和の時計塔 | 30 友愛碑 | 46 被爆したハマユウ | 63 広島瓦斯(株)原爆犠牲者追憶之碑 |
| 14 遭難横死者慰霊供養塔 | 31 平和の門 | 47 材木町跡碑 | 64 広島県農業会原爆物故者慰霊碑 |
| 15 原爆供養塔 | 32 旧天神町南組慰霊碑 | 48 原爆死没者慰霊碑(広島平和都市記念碑) | 65 毛髪碑 |
| 16 平和の鐘 | 33 広島市立高女原爆慰霊碑 | 49 平和祈念像(草野心平の詩碑) | 66 被爆動員学徒慰霊慈母観音像 |
| 17 平和の石燈 | 34 マルセル・ジュノー博士記念碑 | 50 菩提樹の碑 | |



主な施設・
モニュメントの
ご案内

車イスの貸出に
ついては…
平和記念資料館
(082-241-4004)
国立広島原爆死没
者追悼平和祈念館
(082-543-6271)
までお問い合わせ
ください。



● 平和記念公園

元安川と本川にはさまれた平和大通り以北と原爆ドーム周辺をあわせた平和記念公園は、約12.2ヘクタールの広さがあります。

このあたりは城下町時代から昭和初期までの長い間、広島市の繁華街でした。被爆前には、劇場、飲食店旅館などが日夜にぎわい、軒を並べて、多くの人々が暮らしていましたが、人類初の原子爆弾によって、まちは壊滅しました。

戦後、この地域に世界の恒久平和の願いを込めて、記念公園とすることが計画され、昭和24年(1949年)8月6日に公布された広島平和記念都市建設法に基づいて建設がすすり、現在の姿になりました。

現在、公園内には、平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、広島国際会議場などの施設や、原爆死没者慰霊碑をはじめとするモニュメントが数多く建てられており、広島市民のほか国内外から寄せられた約40種類、1,200本の樹木が植樹されています。平成19年(2007年)には国の名勝に指定されました。

41 42 平和記念資料館

昭和20年(1945年)8月6日午前8時15分。広島に原子爆弾が投下され、その年の12月末までに約14万人の人々が亡くなりました。

平和記念資料館は被爆の実相を伝え、核兵器のない平和な世界の実現へ貢献するため設置されました。

東館では被爆までの広島史や、原子爆弾の開発から投下までの経緯、現在の核兵器の状況など、本館では被爆者の遺品や高熱で融けた瓦等の被爆資料を紹介しています。平成18年(2006年)には、わが国の戦後建築物としては初めて、国の重要文化財に指定されました。

- 開館時間 3月～11月は8時30分～18時
(ただし8月は19時まで開館)
12月～2月は8時30分～17時
※入館は閉館30分前まで
- 休館日 12月29日～1月1日
- 入館料 大人50円 小人30円
- TEL 082-241-4004
- URL www.pcf.city.hiroshima.jp/



6 世界遺産 原爆ドーム

チェコの建築家ヤン・レツル設計によるこの建物は、大正4年(1915年)に「広島県物産陳列館」として開館しました。被爆直前は「広島県産業奨励館」と呼ばれ、広島の特産品などを展示したり、いろいろな催し物が開かれていました。

原爆はこの建物の南東160mの上空約600mで大きく裂し、このような廃墟の残骸となりました。戦後、市民などから原爆の惨禍を後の世まで伝えるため、被爆当時のままの姿で残しておこうという声が出され、昭和41年(1966年)に広島市は原爆ドームの永久保存を決定、広く募金を呼びかけ、これまで3回の保存工事を実施しています。

平成8年(1996年)12月、核兵器廃絶と人類の平和を求める誓いのシンボルとしてユネスコの世界遺産一覧表に登録されました。



11 原爆の子の像

この像は、12歳のとき原爆による白血病で入院し、鶴を千羽折れば病気が治ると信じ、鶴を折りつづけながら短い人生を終えた佐々木禎子さんの死をきっかけに、原爆で亡くなった全ての子供たちの死を慰め、世界平和を呼びかけようと、子供たちが国内外の友だちに支援を求め、昭和33年(1958年)に建設されました。

年中たくさんの千羽鶴がささげられることから、「千羽鶴の塔」とも呼ばれ、頂上には、金色の折鶴をささげもつ少女のブロンズ像が立ち、平和な未来への夢を託しています。



55 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

祈念館は、国として、原爆死没者に対する追悼の意を表し、永遠の平和を祈念するとともに、原爆の惨禍を全世界の人々に知らせ、その体験を後代に継承することを目的に設置されました。

館内には、原爆死没者を静かに追悼し、平和について考える「平和祈念・死没者追悼空間」、原爆で亡くなった一人一人の存在を実感できる「遺影コーナー」、被爆体験記を読んだり被爆者証言ビデオなどを見ることにより、被爆の実相について学ぶとともに被爆者の思いに触れる「情報展示コーナー」や「体験記観覧室」があります。

- 開館時間・休館日 平和記念資料館に同じ
- 入館料 無料
- TEL 082-543-6271
- URL www.hiro-tsuitokenkan.go.jp/



48 原爆死没者慰霊碑

(公式名：広島平和都市記念碑)

平和記念公園のほぼ中央にある原爆死没者慰霊碑は、原爆犠牲者の霊を雨露から守りたいとの願いを込めて、家型ハニワに設計されています。

中央には石室があり、その中原爆犠牲者の名(平成23年8月6日現在で275,230人)を記載した原爆死没者名簿と、「氏名不詳者 多数」と記された一冊を含む100冊が収められています。

石室の正面には「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」ときざみ込まれています。



観光案内所・売店

56 レストハウス (元大正屋呉服店)

大正屋呉服店が、昭和4年(1929年)に対岸の細工町から新築移転したもので、当時としてはめずらしい鉄筋コンクリートのモダンな建物でした。

繊維統制令により呉服店が閉鎖された後は、広島県燃料配給統制組合が建物を取得し、燃料会館と呼ばれていました。8月6日、爆心地から170mの場所にあったこの建物は、地下室を除いて全焼しました。

戦後は、破損した個所に補修が加えられ、昭和57年(1982年)からは平和記念公園レストハウスとして、利用されています。

- 開館時間 4月～9月 9時30分～18時
(ただし8月1日～15日 9時30分～19時)
10月～3月 8時30分～17時
- TEL 082-247-6738